

平成26年度公共工事等における新技術活用促進説明会（再募集）

【発表新技術募集要項】

1. 趣旨

中国地方整備局では、公共工事に対するコスト意識の高まりの中、技術研究開発の促進や新技術の積極的な活用により、コスト縮減、品質・安全の確保、環境の保全及びインフラの維持管理に努めてきました。

新技術の活用については、新技術情報提供システム（NETIS）の運用により、開発・改良、試行・活用、導入効果の検証・評価という一連の流れを体系化し、評価結果については一般に公表を行っているところです。

このような状況の下、工事や点検等の実施にあたり発注者及び設計コンサルタントが施工条件に応じ適切な工法を選定していく必要がありますが、多種多様な工法が存在する中、さらに詳細な技術の特徴、適用範囲、従来技術に対する優位性等について「技術の開発者が公共工事発注者、建設コンサルタント等に情報提供する場」が必要と考え、「公共工事等における新技術活用促進説明会」を開催するものです。

2. 開催日時及び実施内容

①開催日時

平成27年 1月29日（木） 13時30分～18時00分（※）

平成27年 1月30日（金） 10時00分～18時00分（※）

※開始時間及び終了時間については応募状況によって変更する場合があります。

②実施内容

技術についての説明及びPR。詳細については「【資料2】平成26年度新技術活用促進説明会概要」を参照。

3. 開催場所

広島市中区上八丁堀6番30号

広島合同庁舎1号館付属棟2階「大会議室」

4. 募集対象とする技術

①新技術情報提供システム「NETIS」に登録されている技術であること。

②分野及びテーマ

分 野	各分野ごとのテーマ
共通分野	●防災・減災に関する技術（追加）
河川分野	●河川施設の点検、維持管理に関する技術 ①河川関係施設の点検に関する技術 ダム、樋門、水門、堤体等河川関係施設の点検に関する技術 ②河川施設の維持、修繕に関する技術 ダム、樋門、水門、堤体等河川関係施設の効率かつ効果的な維持修繕に関する技術 ●維持管理を考慮した河川構造物に関する技術（追加）
道路分野	●道路構造物（橋梁、トンネル、シェッド、大型カルバート、歩道橋、門型標識等）の保全に関する技術 ①道路構造物へ物理的に近づくことができない場合でも点検・調査が可能な技術 ②道路構造物に関する非破壊検査・非破壊調査に関する技術 ●維持管理を考慮した道路構造物（橋梁、トンネル、シェッド、大型カルバート、歩道橋、門型標識等）に関する技術（追加）

③募集件数

河川分野、道路分野合わせて15件程度を予定しています。

5. 応募要件

- ①説明会に無報酬で参加が可能なこと。
- ②説明会で使用する説明資料・配付資料等の準備、説明会場への旅費交通費等一切の経費を説明者側で負担すること。

6. 応募方法

応募様式（①・②-1・②-2・③-1・③-2）「技術概要書」に必要事項を記入し、下記まで提出して下さい。

提出資料はA-4で1枚にまとめてください。なお、この「技術概要書」は応募された新技術を選定するために使用するものです。

【応募方法】

E-mail、もしくはCD等にデータコピーのうえ郵送

【応募先・問合せ先】

〒730-8530

広島市中区上八丁堀6番30号

電話：082-221-9231（代表）

中国地方整備局 企画部 施工企画課

課長補佐 和崎（内線 3453）

（E-mail:wasaki-m87gg@cgr.mlit.go.jp）

施工係長 田村（内線 3471）

（E-mail:tamura-h87eb@cgr.mlit.go.jp）

【応募〆切】

平成26年12月3日（水）必着（郵送の場合は当日必着のこと）

7. 応募技術の選定及び結果の通知

応募頂いた新技術については、技術の内容、NETISにおける事後評価結果や直轄工事における工事実績、過去に実施致しました公共工事等における新技術活用促進説明会等を考慮して選定します。

選定結果については、中国地方整備局ホームページでお知らせするとともに、選定された技術の応募者へ通知します。

8. その他

説明会概要

説明会の概要は「【資料2】平成26年度新技術活用促進説明会概要」のとおりです。